

3月20日全体研修会・講演会

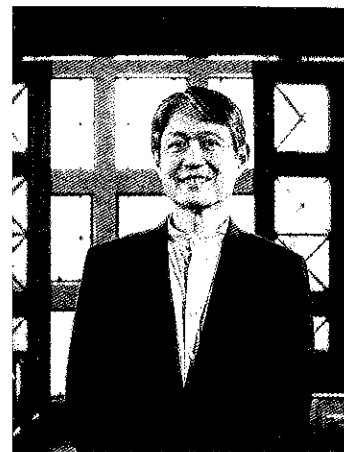
テーマ：悲しむ人の心に届くキリスト者の文学的言葉

—遠藤周作・井上洋治・渡辺和子・八木重吉・星野富弘より
マタイ5章4節より

講師：山根道公（やまねみちひろ）

ノートルダム清心女子大学キリスト教文化研究所教授、遠藤周作学会代表

プロフィール：1960年岡山県生まれ。早稲田大学第一文学部卒、立教大学大学院修了。博士（文学）。1998年よりノートルダム清心女子大学に勤務、2017年より2021年まで副学長。日本文学とキリスト教を研究テーマに、遠藤周作を中心に八木重吉、宮沢賢治、芥川龍之介等に関する論文、著作を発表。また、遠藤と志を共にして日本に根づくキリスト教を求めた井上洋治神父が1986年に創設した「風（プネウマ）の家」運動を共にし、その機関誌『風（プネウマ）』の編集・発行を現在まで担う。



遠藤没後に刊行開始の『遠藤周作文学全集』全15巻（新潮社、1999-2000年）の解題、年譜・著作目録を担当。遠藤没後10年に『落第坊主を愛した母』監修。井上洋治神父帰天を受けて刊行の『井上洋治著作選集』全11巻（日本キリスト教団出版局、2015-19年）の編者・解題を担当。遠藤没後25年に遠藤作品の全容を提示した『遠藤周作事典』（遠藤周作学会編2021年）共同責任編者。遠藤生誕100年に『文豪ナビ 遠藤周作』（新潮文庫）で評伝等担当。『遠藤周作 366の言葉』（日本基督教団出版局）監修。『遠藤周作短篇集』（岩波文庫）編者。

また、遠藤周作没後20年・『沈黙』刊行50年記念の2016年から翌年には、マーティン・スコセッシ監督による『沈黙』完全映画化「沈黙—サイレンス」が話題となる中で、NHK「こころの時代」「母なる神への旅～遠藤周作『沈黙』から50年～」、KTNフジテレビ系「小説『沈黙』の旅～遠藤周作と長崎～」に解説者として出演。2021年にはNHK「こころの時代」で、「2回シリーズ 遠藤周作没後25年 遺作『深い河』をたどる」に批評家若松英輔氏との『深い河』をめぐる対談者として出演。

著書に、遠藤周作探究Ⅰ『遠藤周作 その人生と「沈黙」の真実』（日本キリスト教文学会奨励賞）、遠藤周作探究Ⅱ『遠藤周作『深い河』を読む—マザー・テレサ、宮沢賢治と響きあう世界』、遠藤周作探究Ⅲ『遠藤周作の文学とキリスト教』、『遠藤周作と井上洋治—日本に根づくキリスト教を求めた同志』（以上、日本基督教団出版局）他多数。

全体研修会・会場案内

日本基督教団 阿佐ヶ谷教会
杉並区阿佐谷北5-18-10
電話 03-3337-5879

